

## 平成20年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	やりたいことが見つかる！ 自分・仕事発見講座		
法人名	社団法人大阪府専修学校各種学校連合会		
学校名			
代表者	会長 福田 益 和	担当者 連絡先	西 脇 康 則 TEL 06-6352-0048

### 1. 事業の概要

大阪府・大阪府教育委員会、大阪府生活文化部私学課をはじめ、大阪府立・市立・私立の各進路指導研究会と密接に連携して、高校生の職業観・勤労観を育成し、志望する職業に就くための適切な進路選択、決定が可能となるよう、各専修学校で「職業に必要な知識、技能、資格等の事例紹介」、「体験授業や実践的な職業体験」といった講座等を高等学校の夏休み期間に32の専修学校が37講座を開講した。また、中学校・高等学校からの要請により総合学習の時間などを活用した講座を50回開講した。

### 2. 事業の評価に関する項目

#### ①目的・重点事項の達成状況

事業計画時は大阪府下等の高校生1～3年生を対象とし、500人程度の参加を見込んでいたが、平成20年6月17日に大阪府知事に政策提言した「おおさか職業力向上作戦」については、大阪府、大阪府教育委員会とタッグを組んで取組みを進めることになったので、対象者を中学・高校・支援学校の生徒に、参加者を1,000人程度と、それぞれ変更し事業を推進した。

その結果、総合学習の時間などを活用した講座が好調で、1,470人の参加者となり、計画数を大きく上回った。

#### ②事業により得られた成果

参加者にわかりやすく、楽しんでもらい、自分にあった職業を身につける手助けを行うため、職業について知る機会と職業体験をする機会を提供したが、8分野全ての専修学校が参画したので、中・高校生には多様な講座から自分にあった仕事(職業)を発見することができたと思う。

体験終了後のアンケート調査から見ると、「この職業体験はどうでしたか」に対して、「大変満足・やや満足」と答えたのは、生徒が80.0%、先生が94.2%となり、事業目的(中・高校生の職業観・勤労観の育成、職業に就くための適切な進路選択等)を達成し、一定の事業成果があったものと考えられる。

#### ③今後の活用

今回の職業教育事業の各プログラムは受講生から一定の評価を得ているが、特に、受講生が参加できる実体験を多く組み入れた講座が大変好評であった。大専各では、参加した各専修学校が、この貴重な経験を基に今後の授業や体験入学に有効活用されるよう期待している。

#### ④次年度以降における課題・展開

平成20年10月31日に提言した「おおさか職業教育ナンバー1戦略(素案)」に向けた具体的方策の一つである、大阪版「職業アセスメント・プログラム」モデル事業として、高校と専修学校、民間企業が連携して、職業人と交流するワークショップや専修学校で実践的職業教育の体験等を、大阪府・大阪府教育委員会等と連携し事業を展開することとしている。モデル事業は高校10校(公私各5校)の1年生約3,000人を対象としている。

この外、中・高校生を対象とした総合時間の時間をなどを活用した体験講座も多く開講したいと考えているが、多くの学校に参加頂けるよう有効なPR活動を展開する必要がある。

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①職業体験講座、講演会の実施

##### (1)テーマ

事業テーマは「やりたいことが見つかる！ 自分・仕事発見講座」とし、大阪府内の公立・私立の高等学校、支援学校310校に事業周知を行った。

##### (2)期間

- ① 夏休み期間 平成20年7月12日(土)～8月31日(日)
- ② 総合学習の時間などの活用 平成20年7月4日(金)～平成21年2月6日(金)

##### (3)受講者の状況

- ① 講座数 62講座(夏休み期間12講座・総合時間等50講座)
- ② 専門学校数 61校 ( 〃 11校・〃 50校)
- ③ 高等学校数 34校 ( 〃 26校・〃 8校)
- ④ 中学校数 2校 ( 〃 0校・〃 2校)
- ⑤ 受講者数 1,470人
  - ◇ 高校生 1,238人 ( 〃 142人・〃 1,096人)
  - 中学生 232人 ( 〃 0人・〃 232人)
- ⑥ 受講者の属性
  - 男性 718人
  - 女性 752人

##### (4)受講者の反応等

アンケートの調査結果(有効回答数:先生52人、生徒988人)

###### ① 先生

Q1 この職業体験は、どうでしたか。

➤大変満足 69.2% ➤やや満足 25% ➤普通 5.8% ➤やや満足 0% ➤大変不満 0%

〈大変満足の理由〉

- ・体験学習ができたこと。
- ・大変分かりやすかった。
- ・生徒のほとんどが興味を持つ内容でした。
- ・教え方が良かった。
- ・簡単な実験が良かった。

Q2 この職業体験は、生徒が将来の職業(仕事)を考える上で役に立ったと思いますか。

➤はい 92.3% ➤いいえ 0% ➤その他 7.7%

Q3 来年度このような事業が開催されれば、参加したいと思いますか。

➤はい 96.2% ➤いいえ 0% ➤その他 3.8%

Q4 この職業体験について、気がついたことを自由に書いてください。

〈主な意見〉

- ・講師の方のお話が、大変興味深かったと思います。生徒たちもよく聞いていました。
- ・職業を知るではなく、職業人を知るという今回の目的によく合ったお話をさせていただきました。人生経験に裏付けられた良いお話を聞かせていただきました。
- ・高校側に来ていただいて聴講するという手段もあるが、実際に現場に出かけ話を聞き、模擬体験できる方ははるかに教育的効果は高いと思う。生徒たちが生き活きと話を聞き体験していた。
- ・職業についての説明の他に「なぜ働くのか」というところまで言及していただいて良かったと思います。親切・丁寧に分かりやすく教えていただきありがとうございました。
- ・職業体験の内容も良かったが、まず一番社会人としての心構えのような事柄を生徒に話していただき大変良かったと思います。

###### ② 生徒

Q1 この職業体験はどうでしたか。

➤大変満足 55.7% ➤やや満足 24.3% ➤普通 17.0% ➤やや満足 1.9%

➤大変不満 1.1%

〈大変満足の理由〉

- ・面白かった・楽しかった
- ・色々なことが学べた・勉強になった。
- ・体験学習ができた。
- ・仕事(職業)のことが良く分かった。

・ホテル・スタジオ等を見学できた。

Q2 この職業体験に参加することを誰にすすめられましたか。

- 自分の意志 37.6%
- 学校の先生 36.9%
- その他 15.2%
- 回答なし 9.7%
- 家の人(両親等) 0.6%

Q3 この職業体験に参加して、良かったと思うことはなんですか。

- 職業に対する社会の仕組みがわかった。 39.7%
- 職場における人間関係の大切さがわかった。 19.5%
- 自分の職業の適性がわかった。 14.4%
- 回答なし。 13.6%
- 将来進みたい分野(職業)がわかった。 12.8%

Q4 来年度このよう事業が開催されれば、参加したいと思いますか。(中学生及び高校1・2年生)

- 参加したい 66.6%
- 参加したくない 13.1%
- その他 11.2%
- 回答なし 9.1%

## ②その他

大専各では、大阪府生活文化部私学課と連携し、平成20年6月17日に大阪府知事に「おおさか職業教育力向上作戦—英数国理社だけではない多様な進路をこどもたちに—」について、政策提言を行い、大阪府、大阪府教育委員会とタッグを組んで、大阪の子どもたちに多様な進路を提供していくために、職業教育の分野で「大阪の教育日本一」を目指していくことに合意し、さまざまな取組みを進めている。

このような中で、当事業についても大阪府、大阪府教育委員会と連携し事業展開を行った結果、大きな成果を上げることができた。